

東京水研究レポート NO. 1

(毎回の東京水研究レポートをまとめていくと、大研究になるぞ!「自由研究」にもバッチリ!! めざせ水道博士!)

<水の飲みくらべをしてみよう!>

安全でおいしい水道水。おいしい飲み方を研究してみよう。家族みんなで水の飲みくらべに挑戦してみて!

まず水の用意をします

一度ふっとうさせた水道水

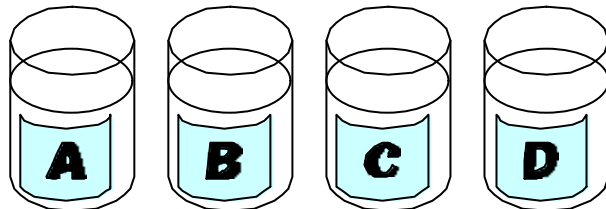
- (1) 水道水をやかんに入れて、ふっとうするまであたためる。
- (2) ふっとうして5分たったら火を止める。
- (3) ぬるくなってきたところで容器に入れかえる。

かならず大人といっしょにやってください。

そのままの水道水

と の水をそのまま(常温~ふつうの温度)と冷やした場合で、飲みくらべてみよう

- A をふつうの温度で
- B をふつうの温度で
- C を冷やして
- D を冷やして



上のように温度をかえて水を用意して、A、B、C、Dと書いたコップに入れて、「こたえシート」にこたえを書いておこう。こたえを書いた「こたえシート」は、タネ明かしまで誰にも見せたらダメだよ。

それから、みんなに飲んでもらって、「飲みくらべシート」に、どの水がいちばんおいしかったか、おいしいじゅんに1から4までの数字を書いてもらってね。自分でも、どの水がおいしかったかじゅんばんを書いておこう。

みんなが書き終わったら、「こたえシート」を見せて、どんな水だったかタネ明かしをしよう!

結果はどうだったかな！？

みんなに答えてもらったら、結果をまとめてみてね。

おいしいと思った水は、どこがおいしかったのかな？

気づいたことや不思議に思ったこと、もっとおいしく飲むやり方などがあったら、メールでおしえてね！

みんな、飲んでみてどうだった？

冷やしたりすると、ちょっと味が変わるでしょ？

じつは、水は冷やすとおいしいって言われてるんだ。それから、5分くらいふっとうさせると、消毒（しょうどく）のために水道水に入ってる「塩素（えんそ）」という薬のにおいがなくなって、おいしいと感じるんだよ。

でも、ふっとうさせて塩素がなくなった水は、ばい菌が増えやすくなっているから、早めに飲むようにしてね。



保護者の方へ

いつも何気なく飲んでいる水道水ですが、実は、温度によって、おいしさが変化します。水道水は、衛生確保のため塩素消毒することが水道法で義務づけられていますが、この残留塩素によるカルキ臭が気になる方もいらっしゃるようです。

そこで、水道局では、水道水をおいしく飲む方法として次の2つをご紹介します。

冷やす 一般的に、10～15℃の水がおいしいと言われています。

水道水を冷やすとカルキ臭を感じにくくなり、おいしく感じるようです。

沸かす 5分間ほど沸騰させることにより、残留塩素によるカルキ臭を取り除くことができます。

実際にこの方法をお試しいただき、「水のおいしさ」について考えていただくために、この研究を企画しました。

飲みくらの手順には「水を沸騰させる」ことも含まれていますので、必ずお子様と一緒に、注意して行って下さい。

また、沸騰後の水は塩素による消毒作用がなくなっているため、お早めにお飲み下さい。

飲みくらべシート

4種類の水を飲んで、おいしいと思ったじゆんに、1から4までの数字を書いてください。

Aの水	Bの水	Cの水	Dの水

なまえ

こたえシート

	Aの水	Bの水	Cの水	Dの水
こたえ	この水は です。	この水は です。	この水は です。	この水は です。

A、B、Cの水が何の水か、こたえを書いておいて、タネ明かしのときにみんなにわたしてね。
タネ明かしをするまでは、ほかの人に見せたらダメだよ！